

タウンミーティング ふじみ野市の健康診断

日 時 平成 29 年 7 月 30 日（日）午前 10 時～11 時 30 分
場 所 サービスセンター
天 気 雨
参加者 61 人



主な意見等

参加者 電信柱にミラーがほしいです。最近、車が大変増えています。自宅の近くでは朝は右から夕方は左から小・中学生が通ります。夕方は一人が車から降りて、周りの安全を確認し誘導しないと車が出せません。道路課に説明したところ、個人的なことは難しいと言われました。

市長 個人的な理由での設置は難しいと道路課で説明しましたが、まさにそのとおりです。ミラーがつく場所というのは曲がり角など交通安全上必要な場所になります。個々の皆さんが車の出し入れに必要という理由でつけるのは難しいです。電信柱につけるにしても、場所によって異なり、付けられる場所と付けられない場所があり、市内にはいろいろなケースがございます。ですので、交通安全上必要な場合でもつけられないケースもございます。

参加者 街灯の件です。若草西公民館通り商店街は何軒もお店がなく蛍光灯代だけ出しています。切れているところが多いので、市で蛍光灯を付けてもらうことはできないのでしょうか。住民から暗いといわれてしまっています。

市長 商店街の会長さんと担当の産業振興課で調整をしています。商店街

の街路灯は商店街に所属している人たちの持ち物ですので、団体の財産ですが、街路という性格上、市民の皆さんの役に立っているのも、電気代を市で負担しています。お話のとおり、商店街の会員数が減ってくると、蛍光灯の代の負担が大変だということは聞いていて、現在調整中です。昨年のタウンミーティングでもあの場所が暗いという話がありました。何とかしたいと思っています。

参加者 上福岡4丁目のクローバー公園について、遊具、滑り台、ブランコが撤去されて更地になっていて、子どもたちがっかりしています。遊具は今後設置されるのでしょうか。

市長 公共施設の老朽化や子どもたちの遊具の安全性について調べたときに、修繕できるものについては修繕し、さらに危険なものについては取りあえず撤去しました。今後、順次新たなものの設置について取り組みを進めていこうという計画になっています。

ただし、かつてと状況は変わっていて、一番わかりやすいのがブランコです。ブランコの安全領域の確保について一定面積の基準がありますが、それが変わってしまっています。ですので、かつて置いた遊具が置けなくなるといった状況が発生します。また、ベンチを増やすなどの地域要望を伺いながら、再整備を進めていきたいと思っています。

参加者 上福岡駅東口に車から降りる場所がないです。どうしてあんなに鎖をつないでいるのでしょうか。車道に人があふれて危ないと聞きましたが、横断歩道がないからあふれるのだと思います。

市長 東口に鎖を付けているのは、車道と歩道の区別をつけるためです。横断歩道の設置について、今は暫定整備の中で警察と協議して、あれで精一杯の状況です。横断歩道は公安委員会が認めたところに引くことができます。要望をしているところでも、横断歩道を引けないところもたくさんございます。簡単に線を引けるわけではありません。

参加者 自転車マナーについて、スマホを見ながら、傘をさしながら運転している事例があります。子どもたちに対しては、学校で啓発を行っていると思いますが、一般の人にとどのように伝えていくかが課題です。その辺の市の考えを教えてください。

市長 自転車も一歩間違えば、大事故につながってしまいますし、乗っている方のみならず周りの方に対する影響についても非常に大きいものがあると思います。自転車は道路交通法上、歩道も OK の場所以外は車道を走ってもらう、また電話をしながらなどの運転はいけないというような子どもたちへの指導はしています。自転車事故は県内でも多いのが実態です。自転車の安全運転ということで、新たな形で自治組織やいきいきクラブに対しても啓発を行っていかねばいけないということを課題として考えています。何らかの形で啓発活動を進めていきたいです。

参加者 市の決算書が毎年市報で公表されていますが、経理のベテランである友人が見てもわからないと言っていました。財政報告書とは別にふじみ野市の財政と暮らしの指標という一覧表を作ってほしいです。市の行政が健全に行われているかどうかの数字を他市町村と対比しながら、ふじみ野市を 100 としてごみの分別、人件費、公園の面積などを説明してほしいです。ふじみ野市は住みやすい街として 1 位と聞いていますが、指標でこの数字を裏付けてほしいです。

市長 まさにおっしゃるとおりです。私が初めて市議会議員になったとき、まったく同じことを感じました。初めて見る決算書は意味不明でした。一般の方からすれば、わからない人のほうが多いと思います。誰にでもわかりやすくつくるのが行政の説明責任として大切です。別のタウンミーティングでも同じようなご意見をいただきました。まさに、市民の皆様へのお伝えの仕方が大事です。それによって市民の皆さんが市について自分のまちはこうだという意識を持ってもらえるくらいわかりやすいものでなければならぬということを痛感しています。今のご提言を受けてわかりやすいものにする努力をしていければと思います。

参加者 財政の健全な維持管理について、歳入と歳出のバランスをとることが必要です。今後少子高齢化により歳入歳出のバランスが変わっていくと思います。その辺の取り組みが必要です。持続可能なまちであるために、市民が自分たちのまちは自分たちでやるという気持ちを持つことが大事です。例えば、福岡中央公園に立派な花壇ができました。あのように努力してくださる方々がありがたいです。努力に対

して、市の支援が必要だと思えます。その支援の継続をお願いしたいです。

市長 今の経済成長率でいった場合厳しい時代がやってきます。
一人でも多くの市民の方が、みんなのできることはやっていこうという意識をもってくだされば、健全性の維持を図ると同時にこの街を持続可能な方向に持っていけると思えます。自分たちのまちのことは自分たちでよくしていくという意識をお持ちの市民の方がどれだけ増えていくかが重要で、皆さまにそのことをご理解いただけるような形をとっていくことが将来への道筋になると思っています。

参加者 東口に車いす専用と書かれている乗降場所があります。この標記では視覚障がいなど他の障がいをお持ちの方がこの場所を利用できず、問題があるのではないのでしょうか。

市長 現地を確認して調べて、必要な場合は改善を図っていければと思えます。

参加者 西口ココネ広場の話ですが、植木があってベンチがあります。誰もが使用できる場所だと思いますが、常時使っている人がいます。また、霞ヶ丘の団地入口に商店街前広場という場所があり、URのベンチがおいであります。ここと西口広場のどちらかにいつも見る顔ぶれの人々がいます。高齢者や女性が大変不安を感じています。

飲酒や喫煙、寝転んだりもしていて、頻繁に救急車を呼んでいます。URに申し出ましたが、対策が難しいとのことでした。やむなく、警察に相談したところ、事故や事件が起こる前には動けず、通報をくれれば見回りに行きますとのことでした。警察の方が見回りに行けば、効果はあるでしょうが、他に何か手はないのでしょうか。また、私からの提案なのですが、外国の方も多く住んでいるため飲酒喫煙はダメという看板を多言語で掲示すれば効果はあるのではないのでしょうか。

市長 西口のココネ広場に関しては、他でも同様のご意見をいただいています。誰もが使える場所にどこまで制限をかけられるかという課題があります。おっしゃるとおり、目に余るような行為が見受けられたりします。行政として何かできないかURとも協議し、改善に向けしっかり考えていきたいと思えます。

参加者　市の街灯が切れています。取り換えの依頼をしたところ「LED化まで待ってほしい」言われて、それから2カ月ほどが経過しました。その間に、あるお宅の木が伸びてしまって、電球を取り換えたとしてもその木が灯を遮ってしまう状況になりました。そのお宅に対して市から話してもらえないでしょうか

市長　個人のお宅にある木を勝手に切るわけにはいきませんので、そのお宅に市から話したいと思います。場所を後ほど教えていただければと思います。

参加者　ある市が、がんについて中学三年生を対象に説明をしているという話をテレビで見ました。その中学生が父母にがんの危険性について家でお話をします。両親は子どもの言うことであれば聞きます。ぜひ、そういう取り組みをふじみ野市でもやってもらえればと思います。

市長　おっしゃるとおり、子どもたちからの発言は大人にとってインパクトが強いと思います。教育委員会に伝えたいと思います。